

富田林市スマートスクール実現プラン

「教わる」授業から、自ら「学ぶ」・お互いに「学び合う」授業へ



問教育指導室 (内線365)

社会の情報化が進む中、本市ではICTを活用した新しい授業スタイルにチャレンジしています。これまでの先生から教えてもらうだけの授業ではなく、先生や友達との対話を通して、お互いに学び合ったり、学習を深めたりする「双方向型」の授業に取り組んでいます。

本市では、GIGA(Global and Innovation Gateway for All) スクール構想で導入された学習用タブレット端末(iPad)を活用することで、これまでのアナログの良い部分と新しいデジタルの良い部分を組み合わせ、子どもたちが主体的に学びに向かえるような授業づくりを進めています。

ICT を活用した 令和時代の新しい 教育スタイルへ!

授業ではICTをどのように使っているの？

「授業支援ソフト」を使って…

- ・先生と子どもたちが双方向に「学習カード」をやり取りして、資料を配布したり、課題を提出したりしています。
- ・授業の流れが理解しやすくなり、過去の授業や資料もデータ保存されるので、いつでも学習を振り返ることができます。
- ・学習教材(資料・問題・動画・音声・写真など)を簡単に共有したり、子どもたちの意見を瞬時に集約・共有したりできるので、子どもたち一人一人が主体的に授業に参加できます。



学習カードの受信



クラス全員の意見が集約され、瞬時に共有



班で協力して課題解決



学習教材を画面で閲覧

「デジタルドリル」を使って…

- ・子ども自身が単元を選んで苦手を克服したり、発展的な問題にチャレンジしたり、自分のペースで自分に合った問題を学習できます。
- ・宿題として、家庭での活用も進めています。
- ・学習履歴を自分で確認できるので、より自分に合った学習を進めていくことができます。



体育の授業でフォームを確認

写真や動画・音声を使って…

- ・今までの学習方法では難しかった、写真や動画・音声を記録として残すことができます。
- ・体育の授業で自分のフォームを撮影して確認したり、英語の授業では自分の発音を録音して先生に提出したりしています。
- ・意見交流や発表の場面で、スライドに写真を掲載したり、先生が作った学習解説動画を閲覧したりするなど、さまざまな活用がなされています。

各種「学習用アプリ」を使って…

- ・合唱やリコーダー演奏の代替としてピアノアプリを活用するなど、状況に応じて各種学習用アプリを活用しています。
- ・楽しみながら解くことができる計算アプリを活用するなど、授業の内容や子どもたちの発達段階に合わせた学習用アプリを活用しています。



漢字学習アプリでの漢字練習



自分の実技を動画で撮影

子どもたちの学びを止めないために、どのような取り組みをしているの？

コロナ禍におけるオンライン学習の活用

- 学年・学級閉鎖や臨時休校時は、子どもたちの体調や状況・実施学年に合わせて、さまざまな方法で実施できるように工夫しています。
- ・Web会議システムでのリアルタイム配信で、参加している子どもたちの様子を確認しながら学習を進めます。
 - ・授業支援ソフトなどを活用して、授業内容の解説や学習支援動画・課題を配信したり、提出したりします。
 - ・やむを得ず登校できない子どもにもICTを活用した取り組みを進めています。詳しくは、各学校にお問い合わせください。



授業の配信

多くの情報があふれる社会の中で、収集した情報を整理・比較し、根拠を示しながらわかりやすく相手に伝える力を育てていきたいと考えています。

昨年度、生徒会でタブレットのルール決めをし、現在では毎日持ち帰り、文房具の一つとして机の上に置いて授業を行っています。

教員が今まで紙に印刷して配布していた白黒プリントを、子どもたちの画面に瞬時にカラーで送れるようになりました。友だちが回答した画面が、まるでクイズ番組のように即時にモニターに並び、共有できます。また、友だちの意見を参考に、自らの深い学びにつなげることもできるようになりました。



大阪府「スマートスクール実現モデル校」
金剛中学校 岩片校長